

NPOかながわ環境カウンセラー協議会

KECA ニュース

NO. 42

平成22年8月28日 発行

巻頭言

未来を信じ明るく楽しく活動しよう

理事長 杉浦弘祐

産業を中心とした従来型の経済発展に代りこれからは環境と福祉を中心とした経済発展即ち国民生活の向上が提案されております。KECAは、自然と人間がみごとに共生する環境の世紀を創ろうと環境活動を行っており、未来が開けてきたという感じであります。

1. 新規事業の立ち上げ

しかし、現実には厳しく、コンサル収入の低減、EA21認証取得企業の減少、無料講習会の増加、会員の退会など、KECA等を取り巻く環境は決して明るくはありません。この状況を打開すべく本年度は財政基盤の確立を取り上げて、各委員会を中心に活動を進めております。

7月2日に開催された支部長・委員長会議で「財政基盤確立のための新規事業立ち上げ」について活発な意見交換が行われ環境教育を中心とする教育事業の立ち上げが検討されました。内容は、①環境教育インストラクター養成講座 ②環境カウンセラー養成講座 ③総合研修会1 ④エネルギー支援事業 ⑤ビン・リユース促進事業 ⑥環境経営支援事業 ⑦ECO検定受験講座 などです。

EA21支援事業依存体制からの脱却を

目的とした財政基盤の確立と、受益者支援体制の確立がどこまでできるか、将来に向けての期待が膨らみます。この新規事業はKECAの将来を左右するものであり、会員諸氏多数の参加を切に希望致しております。

2. 支部活動の強化

次は昨年度に引き続き、支部活動の強化であります。支部活動は、地域には特殊性があり、地域が環境カウンセラーに期待している役割は何かを探り、地域における環境問題解決の専門家として、持続可能な地域社会づくりにかかわっていきたいと考えております。そのためには、①基本に戻って支部活動を見直す ②支部組織の統廃合を含めた支部範囲の見直し ③行政、商工会議所、商工会、市民団体等との連携強化 ④他支部や各委員会との交流・提携の強化などが挙げられます。支部活動活発化のために、委員会活動を含めた全体の資金はあまり潤沢ではありませんが、計画予算の有効活用を促進してください。又、2010年度事業計画を実行するために、支部長を中心にPDCAサイクルを回し活動の強化を図ることを切望致しております。

3. 運営体制の確立

KECAの運営に係るようになって、都度発生する運営上のトラブル解消に係る時間と環境活動に係る時間は、ほぼ1/2の比率です。KECA内部での意見や発言は自由ですが最終的には組織活動が混乱する前に收拾したいものです。社会的問題の解決を目指すのであれば、組織として個々人の役割と責任を定義し、社会的な機能として活動できるようにレベルアップを図りたいものです。ボランティアもNPOの経営も有給、無給にかかわらず、決められた役割と責任を果たす事が必要ではないでしょうか。KECAの一つの弱点と

して、役割と責任が不明確な点が挙げられます。そのように考え昨年度は定款の改訂を行いました。本年度は①支部活動費支出規定の改訂 ②監査基準の制定 ③法務活動マニュアルの作成、等を完了させる予定であります。標準化が進み会員各位のトラブル解消に係る時間が減少し、環境活動に係る時間が増えることを期待しております。

内部体制を固め、ECUとの連携を密にし、環境カウンセラーとしての期待にこたえる活動を進めていけば、KECAの将来は明るいと信じております。未来を信じ明るく楽しく活動しましょう。

支部活動報告

～地元に貢献する支部活動を～

支部を総括担当している古川です。

このところの厳しい猛暑で皆様方にあつては、体調管理に苦労されているものと思っております。お元気でこの夏を乗り切ってください。

最近のテレビ、新聞報道によれば、現在の日本は、ゲリラ豪雨や猛烈な暑さはまさしくフィリピンなど東南アジア諸国と同じ亜熱帯化している状況にあります。

特に、今年の夏は日本近くの海水温度が非常に高く、秋の味覚のサンマが取れず、また、葉っぱものの野菜の収穫が減少して家庭生活にも大きな影響がでてきております。このような現象はまさしく地球温暖化の影響でしょうか？

国にあつては、「京都議定書」において約束した「1990年比6%の削減」の達成のために必要な対策及びコペンハーゲンでの

COP15に向けた対策として、「地球温暖化対策の推進に関する法律」を制定し、国、地方自治体、企業、家庭など一体となり施策を施行している段階です。

このような状況下にあつて、神奈川県県内の市町村では環境保全条例に追加して、温暖化対策計画の策定とその実施を積極的に進めています。

KECAの各支部において、このような環境影響のある中で環境専門家である環境カウンセラーの知名度を上げるべく、地元地域とタイアップして受益者に対する諸活動を本年度活動に基づき計画の通り推進していただくようご協力をお願い致します。また、支部交流を活発化して、お互いの適切なコミュニケーションを図ることも大切です。この点についても各支部の活動の情報を公開して、人材交流を図ってい

ただくようよろしくお願ひ致します。

以上

【横須賀三浦支部】支部長高橋弘二
支部集会

□日時、場所:7月5日(月)18:30~20:00、
横須賀市民活動サポートセンター

□出席者:3名

〔議事要旨〕

- (1) 平成22年度 KECA 臨時総会、総会の報告、総合研修会 (I) について
- (2) 湘南国際村めぐりの森・サマースクール
「環境カウンセラー養成支援講座」
横須賀三浦支部が開催、会員の協力要請
平成22年度の募集期間がこれまでより2ヶ月早まり、7/1~8/16 となった。
- (3) 活動報告・情報提供

横浜支部活動報告 支部長原 洋夫
2010年度第一4半期における当支部の活動を報告します。

当支部は現在会員が54名である。前年度死去や退会で5名の減員であったが6名の新会員が入会された。支部会出席者は15~20名、約1/3である。残念ながら出席者が過半数を超えていない。出席率の向上はこれまでもいろいろ努力してきているがなかなか向上しない。

1. 支部会議の開催:原則的には毎月第4木曜日18時30分からの2時間を設定している。

4月22日(横浜市市民活動支援センター)、5月27日(同)、6月24日(同)主要議題は理事会・委員会の報告今年度の横浜支部事業計画、イベント参加計画、連絡事項、1分間スピーチ等である。

2. 2010年度横浜支部事業活動進捗状況

1. 主な活動

- (1) 県立観音崎公園再整備検討ワークショップ参加
- (2) すかつ子セミナー2010・自然系Aコース(川)と自然系Dコース(海・山)の活動
- (3) エコ学習トランクによる「地球温暖化について」の出前授業:市民団体、小学校、中学校
- (4) 三浦半島まるごと博物館連絡会の活動
- (5) 県道久里浜田浦線・トウキョウサンショウウオの保護・放流
- (6) 葉山町・ごみゼロ運動とコンポストモデル活動

1) エコアクション21グループ(村井グループ長)

今年度も引き続きEA21の認証取得を希望する顧客の開拓を目指すこととし、当面は業界団体の絞り込みをする等活用できそうな手づるを模索する。具体的には横浜市商工会議所に入会し会員への普及、横浜市の金沢工業団地内の共同組合への普及活動及び中小企業中央会のセミナーの過去受講者の未認証登録事業者への普及フォロー活動である。グループ員も15名を超えた。

2) 市民活動

今年度は、横浜市の環境活動月間行事として「市民創発・環境行動フォーラム2010」というタイトルで展示だけではなく、体験コーナーも設置して行うことになった。河野会員を中心として各種体験コーナーを準備して、6月5日(土)~6日(日)会場は BankART StudioNYK

(馬車道)で開催された。その様子について参加報告をまとめてもらったので参照されたい。

3) 会員相互研修

4/22 生物多様性に関する講話：講師：石黒会員 18名参加だが外部から2名参加された。

5/25 東京ガス(株)根岸工場見学：樋口会員、石黒会員のお世話で他支部からの参加者も含め10名であった。

見学記を樋口会員がまとめてくれたので紹介します。

3. 「横浜市中心小企業ISO14001認証取得支援事業」運営

横浜市の都合により本年度からは支援事業が中止となった。しかし契約の関係で昨年度末に支援事業に応募した事業者には今年度末まで進捗管理を継続する。現在は1社のみが支援コンサルタントによるシステム構築活動を続けている。

横浜市「市民創発・環境行動 フォーラム2010」参加報告 副理事長(委員会担当) 河野健三

横浜市環境創造局主催の頭書フォーラムに参加したので報告する。

1. 開催日時：6月5日(土)～6日(日)、10～18時(6日は～17時)
2. 場所：BankART Studio NKY 1～3階(横浜市中区海岸通3-9、馬車道駅徒歩4分)
3. テーマ及び設置コーナー
テーマ：都市型エコライフスタイルの
4. KECA 横浜支部ブース出展内容

すすめ

設置コーナー：くらしの中のエココーナー、水の大切さを考えるコーナー、自然と生き物(生物多様性)コーナー、FMヨコハマ公開放送エリア、ステージ&交流エリアに約50団体が参加

NO	狙い	展示パネル	体験・参加コーナー	来場者数
1	省エネ意識の啓発	① 私たちができるエコアクション(お風呂/トイレ・リビング・キッチンで) ② 私たちができるエコアクション(エコバッグ・省エネ機器・リサイクル商品) ③ 自然を感じる家へ(風・光・水・木の活用)	LED電球と白熱電球を配置した省エネ体験実験装置により、消費電力の違いを手動の発電機を回すことにより体感してもらう	45
2	お買い物は省エネマークに注意しよう	④カーボンフットプリントのマークを見つけよう	色々な商品についているカーボンフットプリントのマークを探しとCO2排出量をあてるカ	12

			ーボンフットプリント クイズ	
3	生きものを大切に	⑤ いろんな生命が生きられる 地球をとりもどそう ⑥ 生き物たちにとって住みよ い三浦半島を目指して	野鳥の鳴き声を聞いて みよう	5 5
4	風呂敷は素敵な エコバッグ	⑦ 風呂敷の包み方いろいろ	スイカ包み、風呂敷リュ ック、レジ袋包み等	2 1
5	KECA の PR	⑧ 環境カウンセラーとは KECA の PR 用としてホームペー ジにある環境ダイアログ、入会 案内、出前授業、EA21 認証取得 の資料をコピーし会場で配布す る	ー	1 3

5. 来場者数：6月5日：900名、6
月6日：500名

6. KECA 会員の参加メンバー(敬称
略)

6月5日：岩村、大竹、大中、大野、
金本、木村(信)、近藤、嶋田、杉浦、

平野、河野

6月6日：岩村、大中、大野、金本、
野々村、原、樋口、姫井、水谷、河野



以上

東京ガス(株)根岸工場見学報告

2010年5月25日(火) 東京ガス(株) 根岸工場 展示室にて



KECA横浜・横須賀支部見学参加者：
(齊藤氏のカメラによる撮影)松永研一郎、村
井哲郎、井上忠泰、河野健三、武藤勝弘（横

須賀）岩村順雄、石黒不二夫、木村信幸、樋
口藤太郎、齊藤雅彦、（敬称略）計 10 名

（スケジュール）

1. 集合・出発：JR根岸線・磯子駅午後
2時、（東ガス・横浜支店：岡野総務課長
の出迎とご案内）

2. 見学概要：根岸工場のバスにて午後2
時30分根岸工場着、説明案内開始；

1) 東ガス・横浜支店・嶋村副支店長
（石黒氏のご折衝により実現）

：歓迎と関東地区活動
内容と営業全般の説明

2) 根岸工場：杉本工場長；根岸工場の
概要、経緯と関東地区扇島工場と袖ヶ浦工
場の役割

3) 〃：木村LNG(液化天然ガス)
スクエア一部長：工程内パワーポイント説
明、世界の資源と日本の需給量関連の詳細
説明

3. LNGの冷熱実験：(-162℃の低温室
の30秒体験を含む) 午後3時20～40分

4. 工場内見学：午後3時45分～4時10
分

5. 見学後の質問：木村LNG(液化天然ガ
ス)スクエア一部長・午後4時15分～35分
詳細に亘るご丁寧なご応答頂く

・KECA木村事務局長：お礼の挨拶；記
念撮影午後4時50分見学終了、午後5時
JR磯子駅帰着：解散

（見学内容の概要報告）

1. 東ガス・根岸工場の説明概要

①東ガス・根岸工場は、1966（昭41）

年5月操業開始、1969(昭44)年には、
わが国初の天然ガス（LNG）をアラ
スカから導入しました。以後、'73(昭
48)年～'08(平20)の16年間にブルネ
イ、マレーシア、豪州、カタール等、
昨年はサハリンも加わり、当社のLN
G導入累計は実に1億トンを超えた
そうです。これは政府の施策である石

油の代替にも貢献しているそうです。

②関東・首都圏の東京都、神奈川、埼玉、千葉県全域主幹線、栃木、群馬、茨城(日立、筑波学園都市)には、東ガス・東ガス・根岸工場、川崎・扇島工場、千葉・袖ヶ浦工場の3者が供給しています。そのうち根岸工場は4割を供給しています。

なお、この首都圏の幹線ガス管の全長は460kmに達し、幹線から網目状の導線の総全長は50,000km以上ということです。

③根岸工場では、隣接の東京電力(株)南横浜火力発電所とLNGを共同購入しています。8割はが都市ガス向け、2割は火力発電用燃料となっています。

④LNGは他の化石燃料に比べてクリーンエネルギーです。夫々の燃焼排気ガス比率は

	CO ₂ 排出割合	NO _x	SO _x
LNG	60%	40%	0%
石油	80	70	70
石炭	100	100	10

(出典;「エネルギー白書2009」資源エネルギー庁)

⑤都市ガスの製造工程

図に基づき丁寧に説明頂いた。

⑥冷熱発電装置とコージェネレーション装置;

ガス会社独特の新・省エネ温度差発電装置(−162℃〜常温)とコージェネレーション装置発電で7割の電気を活用しています。

(当方の質問・確認課題となった。)工場の停電時にも活用可。

⑧東京ガスの原料別状況:(同様に質問・確認課題となった。)

2008年LNG97%、LPG2%、その他1%
1975年LNG52%、LPG3%、

その他16%、石油19%、石炭10%

⑨わが国全体の1次エネルギー構成:LNG16.6%、石油43.7%、原子力11.2%、石炭25.4%

⑩東京ガスKKの家庭用省エネ・環境保全装置は、世界初の燃料電池発電装置の「エネファーム」と太陽光発電を組み合わせた「ダブル発電システム」です。昼夜の発電と売電・買取制度、CO₂削減効果が加わります。

以上詳細説明と実験体験・質問により大変勉強になりました。(文責:樋口)

全国植樹祭の川崎市魁植樹祭参加

川崎支部

川崎支部は、地域の『みどり活動団体かりうど』と共同で、神奈川県で開催される

【第61回全国植樹祭】の魁植樹祭(川崎市主催)に、展示ブース出典と言う形で参加した。出し物は、生物多様性の維持保全、

里地・里山の維持保全、LEDの省電効果体験、ロープの結び方教室、太陽光発電の応用等々であった。主催者側スタッフや一般参加者が入れ替わり立ち代り訪れ、いずれも好評を博した。以下に詳細写真を示す



21川環緑第487号
平成22年3月15日

川崎市環境局緑政課長

「かわさき生田緑地植樹祭」への参加について(お願い)

陽春の候、皆様ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、日ごろ本市の緑の保全や緑化の推進に関し、ご理解とご協力をいただき御礼を申し上げます。

また、このたびの「市民コラボレーション植樹」などの呼びかけにも、前向きな検討をいただきましたことに、感謝しているところでございます。

今月に入りまして、標記植樹祭への一般参加公募を開始いたしまして、これまで順調に市民の方々からご応募をいただいております。

さて、以前より、ご案内させていただいておりますとおり、生田緑地での植樹祭は、神奈川県をあげて開催する第61回全国植樹祭の一環としてのイベントでございます。

私共といたしましては「市民が主役の元気都市川崎」の発信の機会として、平素より緑の活動を実践されております皆様にも、是非、多くのご参加をいただきたいと思いますと考えております。

つきましては、緑の活動をされている皆様には、一般公募とは別に植樹祭パートナーとして参加を募集させていただきますので、一人でも多くの方のご参加をお願いしたく、あらためてご案内申し上げます。

また、5月16日(日)当日は、式典会場に併設して、出展ブースの設置を予定しており、川崎市の緑の活動についても情報発信していけたらと考えております。

皆様のなかで、活動報告やパネル設置等などのご意向があれば、この出展ブースでのスペースの確保などについて、対応をさせていただくことを検討しておりますので、ご希望がございましたら別添の調査票にてご連絡いただけましたら、幸いです。

問合せ 環境局緑政部緑政課
電話(044)200-2380
担当 木村・石井



拝啓

新緑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは、5月16日に開催いたしました
第61回全国植樹祭サテライト「かわさき生田緑地植樹祭」に御協力をいただき、誠にありがとうございました。

当日は、天気にも恵まれ、おかげさまで1,000名を超える市民の皆様の参加を得て、3,500本の苗木を植樹することができました。

また、大きな事故もなく、無事に植樹祭を終えることができました。これも、皆様のお力添えがあったおかげと深く感謝しております。

今後とも緑豊かな潤いのまるまちづくに向けて、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら書面をもって御礼の御挨拶といたします。

敬具

平成22年5月31日

川崎市建設緑政局長 栗林 栄

以上（照沼記）

湘南支部報告

湘南支部会員 嶋田和夫

1 集会行事

1) KECA 湘南支部集会 4月30日(金)、
5月27日(木)、
藤沢市市民活動推進センター

18時～19時30分

参加者：安斎、伊藤、井上、小山、嶋田、
西村、中本、

話題は①KECA理事会の報告、②他の支部活動のニュース、③会員の動静、④環境フェアの出し物などが中心であった。

2) 「ふじさわ環境フェア2010」、6月
26日(土)、27日(日)開催に参加

今回の全体テーマ：「めざそう低炭素の都市、生物と共生できるまち、ふじさわ」に沿って湘南支部では手回し発電機と風力発電機による「白熱電球と省エネ電球のエネルギー比べ」[いろいろな発電方法の比較]、「電気エネルギーは変身の名人」の実験体験とエネルギーのパネル展示、茅ヶ崎の小山会員と横浜支部の大野会員によるミニレクチャー「不思議な折り紙環境編・六角返し」、「ちゅら海の多彩な生物たち」のパネル展示を行った。

電気エネルギーの変身実験では「回転寿司」と「電気自動車」がこどもたちの一番

人気で大人にはLEDランプと白熱電球の比較が注目を浴びた。

3) 「ちがさき環境フェア2010」、7月3日(土)、4日(日)の参加報告は別項に小山会員のレポートがあります。

4) 「2010 tvk 秋じゃないけど収穫祭」、6月5日(土)、6日(日)に協力
手回し発電で動くロボットかめさん、足踏み自転車発電機によるLEDランプと蛍光灯の比較実験、ソーラー発電で綱渡りするロボットモンキーのデモを行った。

5) 相模原支部の展示に協力

「さがみはら市民くらまつり」4月3日(土)・4日(日)、環境情報センターで開催、
手回し発電で動くロボットかめさん、光発電で奏でる電子オルゴール、イルカのジャンプ

が出張参加して好評だった。

2 今後の支部活動推進体制

6月より嶋田がKECAの監事に就任したため支部長を嶋田から西村氏に交代した。

副支部長の安斎氏(ちがさき地区)は従来通り。 以上

ちがさき環境フェア 2010 に参加

(展示およびワークショップ)

湘南支部 西村、小山

ちがさき環境フェア 2010「未来へつなごう！環境にやさしいまち」が、茅ヶ崎市民

文化会館と中央公園ほかを会場に7月3日(土)、4日(日)の両日に開催されました。

梅雨時にもかかわらず、幸いにも日中は



太陽が顔を出すよい天候にもめぐまれ、大変盛況でした。(来場者 1000 名以上)

ちがさき環境フェア 2010 のテーマは、「地球温暖化防止と生物多様性の保全」。

そのテーマに合わせ、KECA 湘南支部は、「集まれキッズ！エコゲームゾーン」に、各種エネルギー（力）源や沖縄（美ら）海のサンゴの紹介パネルの展示と嶋田会員手作りの LED と白熱灯のエネルギーの違いを比較できる「エコモデルハウス」や紙粘土で作ったにぎりを使った「回転寿司」など、手回し発電によってエネルギー（力）を体験できるグッズや JCCCA 編集の環境学習プログラムから旬の食材について学べる「旬カードゲーム」「旬ちゃんゲーム」などのワークショップを行いました。



手回し発電「回転寿司」の説明をする嶋田会員

エコキッズコーナーには、KECA 湘南支部以外に、ちがさきエコワーク学習部会の「環境カルタ」や「環境すごろく」、神奈川県環境技術研究会の「なんで、どうして、不思議！」をキーワードにした、生物多様性にちなんだ昆虫や旬の野菜、果物、魚介



類の絵柄を使ったふしぎな折り紙工作「六角返し」と「変り絵カード」(藤沢環境フェア 2010 のミニレクチャでも紹介)、「坂を登るルート」、「河童の手」などの興味津々のグッズを使ったワークショップが行われました。KECA ブースの 2 日間は、嶋田、安斎、西村、井上、小山の支部会員が担当しましたが、スタンプラリーポイント地点であったため、ひっきりなしの来場者の応対に昼食を交代でとるほどの忙しさでした。



「坂を登るルート」の仕掛けを説明をする嶋田会員

角返し」と「変り絵カード」(藤沢環境フェア 2010 のミニレクチャでも紹介)、「坂を登るルート」、「河童の手」などの興味津々のグッズを使ったワークショップが行われました。KECA ブースの 2 日間は、嶋田、安斎、西村、井上、小山の支部会員が担当しましたが、スタンプラリーポイント地点であったため、ひっきりなしの来場者の応対に昼食を交代でとるほどの忙しさでした。

2 日目には茅ヶ崎在住の中本氏(準会員)も陣中見舞いに訪れました。どのブースも盛況で大人から子どもまでが楽しく遊びながら、5 感を使った体験を通して環境問題(省エネルギーや生物多様性の保全)の大切さについて、たくさんのことを学んだのではないかと思います。皆様、本当にお疲れ様でした。 以上

六角返しの折り方や変り絵カードの折り方をていねいに説明する小山会員

県央支部活動報告

支部長 古川 輝夫

第14回KECA通常総会で決定されました支部事業活動方針に基づき、当支部として、管内の6市1町1村の行政や商工会議所、商工会とタイアップして、地元市民への教育並びにEA21普及活動・支援

なお、下記の*印は既に実施されています。

及び会員研修を独自実行の他各支部との交流、各委員会への協力を積極的に進め支部活動の活性化を図ることを念頭に、現在まで下記の年間計画通り順調に推進しています。

2010年度KECA県央支部活動計画

<定例支部会議>

開催月・日	時間	場所	講和担当者
*6/13(日)	17:00～19:00	えびな市民活動サポートセンター	
8/22(日)	17:00～19:00	えびな市民活動サポートセンター	高橋
10/24(日)	17:00～19:00	えびな市民活動サポートセンター	古川
12/12(日)	17:00～19:00	えびな市民活動サポートセンター	宮本
2/13(日)	17:00～19:00	えびな市民活動サポートセンター	守谷

注) 1. 定例支部会議は原則的に2ヶ月に1回開催する。

2. 毎回の定例支部会議では連絡事項、情報交換の他に30分の講和を各担当者が行う。

3. 2011年2月以降の日程は別途策定する。講和予定担当者は菅田、高山

4. 12月12日は忘年会を行う。

・三菱重工金沢工場(風車、タービンなど)担当: 高橋・

・県自然保護センター(動植物の観察)担当: 宮本・

・清水建設総合研究所(自然エネルギー、バイオソープなど)担当: 守谷

・相模原宇宙開発研究所(宇宙ロケット研究)担当: 古川

・宮ヶ瀬ダム、愛川自然公園、平塚市民公園(自然探索): 古川

<モデル事業所の視察研修会>

定例支部会議が開催されない9月、11月、1月に次の候補として計画する。

*6月15日にリコー厚木事業所を見学(横浜、県央より15名参加)担当: 高山

<環境展等への出展>

前年度に引き続き下記の2件を実施する。

項目	日程	場所	担当
綾瀬市環境展	10月23日～24日	綾瀬市市役所	菅田
海老名市フリーマーケット	11月 日程は未定	えびな市民活動センター	守谷

*6月2日～8日に海老名市環境展に出展した、(高橋、菅田、守谷)

＜行政・商工会訪問＞

下記の関係市、商工会を各担当が訪問し、情報交換と EA21 等支援活動を行う。

・大和市、綾瀬市：菅田、海老名市：高橋、厚木市：守谷、伊勢原市：古川

＊6月18日海老名市役所を訪問し、海老名市中小企業振興支援事業制度（EA21 など）

について、商工課から説明を受け当支部として協力していくことになった。（古川、守谷、高橋）

見学報告 県央支部 高山進

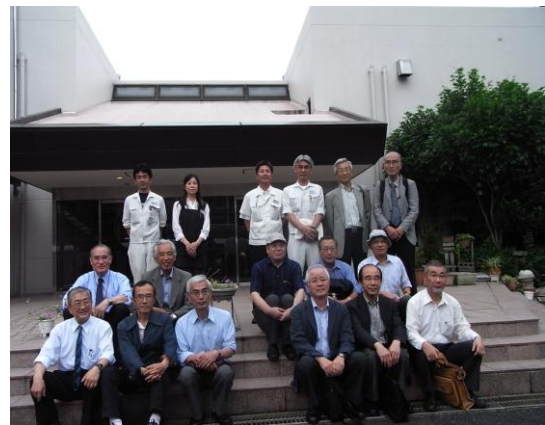
環境経営のトップ企業である株式会社リコーの厚木事業所を6月15日に県央支部主催で工場見学会を行いました。参加者は県央支部7名、横浜支部7名、川崎支部1名の合計15名が参加されました。厚木事業所はデジタル複写機、カラー複写機、レーザープリンター等の複写機器部品の加工・ユニットの組み立て、ジェルジェットプリンタヘッド等を生産している事業所です。

会議室で厚木事業所の環境改善や5S活動の実施状況の説明を受け、現場見学に入りました。

現場見学では工場に1歩入ると飛び込んできたのがきれいな通路と整然とレイアウトされたいろんなマシンでした。環境改善事例としては工場で多く使用しているコンプレッサーの運転方法の見直し改善や、乾燥炉の廃熱を利用した改善等多く

の環境改善事例の紹介がありました。又5S活動の展開では可視化をベースにして進められていて、非常にきれいな効率的な職場になっていました。会社挙げての環境への取り組みや5Sの徹底は本当に勉強になり我々の今後の活動に参考となる見学会となりました。

見学の帰りには有志で本厚木駅前の居酒屋で懇親会を行い各支部の情報交換などで盛り上がり終了しました。



リコー様の案内者と参加したメンバー

西湘支部活動報告

木村隆男

今泉さんの監事就任にともない、支部長が交代しました。情報の流れに留意し風通

しを良くするとともに、支部会員の声が反映される支部運営を心がけます。

支部活動の内容は、事業計画書のとおりですが、エコアクション 21 の普及活動とともに、環境考察会(以下考察会)に力を入れたいと思います。昨年度は、市民活動研究会との共催で2回の考察会を持ちましたが、今年度は支部主催の考察会を開くことをめざします。このため7月下旬に真鶴半

島をフィールドとしてコース開拓をおこない、秋あるいは初冬に考察会を実施する予定にしています。今回の考察会を核として、考察会の地域活動への展開を図るとともに、支部間の交流も活発にしたいと考えています。考察会の詳細が決まりましたらお知らせしますので、ぜひご参加下さい。

『KECAの旗を立てよう』～心に残る先輩の言葉～

副理事長(委員会担当) 河野健三

委員会を担当している河野です。昨年8月に亡くなられた小竹さんの言葉が忘れられません。小竹さんはKECA創立以来の会員で現在のKECAの財政基盤となっているEA21の普及に努められましたが、横浜支部会議の席上「KECAは旗を立てる必要がある」と言われたことがあります。その言葉の意味を私なりに解釈すると、KECAの旗を立てる狙いは「KECAは何をして社会に貢献しようとしているかを外部の人たちに発信する」とことと「その旗のもとへKECA会員の総力を結集することが出来る」とのお考えにあるように思います。その旗はKECAのお客様である受益者への

メッセージになると共にKECA会員の方々にとっても、「それをやるなら自分はこのように貢献できる」と会員諸氏の参加を促す起爆剤になると思います。現在、KECAは様々な活動をしていますが、統一されたメッセージとしては定款に述べられている「環境保全活動の推進」以外はないと思います。「環境保全活動を推進することにより何をを目指すのか」KECAとしての明確なメッセージを発信する必要があると思います。既に行われている事業、今年度に新規事業として立ち上げる諸事業を通して検討していきたいと思いますのでご協力の程宜しくお願い致します。

委員会活動報告

環境教育委員会報告 委員長高橋弘二

1. 委員会開催

□日時、場所：6月29日(火) 18:30～20:00、県民活動サポートセンター9階

□出席者：6名(杉浦理事長出席)

議事：

(1)環境教育インストラクター養成講座の開催、11月20日(土)、21日(日)開催で計画を進める。エコピープルの取り込み。

(2)総合研修会(I)を担当、9月2日(木)、横浜市民活動支援センターを予定、地元自治体発行・子ども向け環境(副読本)を使って出前授業がやれるようにデモ授業。

(3)環境教育指導者登録の更新とスキルアップの実施

(4)環境教育委員会ホームページについて

(5)市民活動研究会の「指導者養成講座

(7/13)」について

(6)「環境カウンセラー養成支援講座
(8/11)」横須賀三浦支部主催の協力

2. 環境教育実践報告

(1) 神奈川県省エネ・新エネ学校派遣事業登録:平成22年度前期申込みなし。

(2) 横浜・ボーイスカウト(低学年) 出前授業:岡本、嶋田、次回からは地

元支部会員の協力を期待したい。

(3) 横須賀市地球温暖化対策地域協議会所有「エコ学習トランク」による出前授業:高橋

3. その他

本年度の市民環境活動報告会の取り組み(間もなく実行委員会スタート):岡本

環境管理委員会 環境管理委員長

環境管理委員会が所管する特別事業は、セミナーを中心とする顧客開拓が新年度開始と共に順調にスタートを切ったが、猛暑の影響か6月以降中弛み状態である。

一方自治体イニシアチブ、企業のグリーン化プログラムは残念ながら昨年の勢いはない。今年確定したのは自治体イニシアチブ1本、グリーン化プログラムが2本の計3本である。

従って、これらを昨年同様遺漏無くこなすと同時に、セミナーによる開拓に力を入れないといけない。一方来年に向けて自治体イニシアチブ等の種まきを始めている。

自治体イニシアチブ1本、グリーン化プログラムが2本の計3本については順次お知らせする。

以上(照沼記)

エネルギー委員会報告

委員長 西村 堅一郎

エネルギー委員会は地球温暖化防止のための省エネの推進、新エネの導入について

検討し、事業者、市民を対象として指導を行っています。

本年度のエネルギー委員会の事業として「事業者への省エネセミナーの実施」があります。その第1回目として、下記のセミナーを行ないます。地球温暖化防止、省エネに興味のある事業者様には是非参加頂きたく存じます。また、お知り合いの事業者様にお伝えいただきたく存じます。

中小企業のための省エネルギー・セミナー開催

地球温暖化防止のために省エネルギーが強く求められています。

省エネルギーには1. 運用改善によるもの、2. 少額投資で行うもの

3. 将来を見据えて、投資を行うもの、があります。今回の講演は運用改善と少額投資でできる省エネルギーを主にその事例を紹介致します。

地球温暖化に積極的に取り組む企業様、また、省エネルギー活動に行き詰まっている事業所様にはお役に立つと思います。

合わせて、省エネ相談会を実施しますのでご参加ください。

プログラム

12:30～13:00	受付
13:00～13:30	省エネマネジメント について
13:30～14:00	受電設備 照明 電動機
14:00～14:30	コンプレッサー
14:30～15:00	空調関係
15:00～15:30	ボイラー
15:30～16:00	工業炉
16:00～16:20	省エネルギー ・新エネルギーに 関する補助金等
16:20～17:30	省エネ相談会

日時 2010 年 9 月 18 日 (土) 13:00～
17:30

場所 横浜市市民活動支援センター 4
F セミナールーム

参加費 (資料代) 1,000 円

参加費は研修当日受付にてお支払いください。

定員 30 名 (申込締切日 9 月 10 日)
申込先メール

kenisimura@jcom.home.ne.jp 西村堅一郎

FAX 0466-23-0868

詳細は K E C A ホームページに掲載していますので御覧ください。

3 RLCA 委員会 委員長齋藤雅彦

3RLCA 委員会として現在「ガラスびん」のリユースについて調査中ですが、現在までに判って来た事は次のようなことです。尚、本件は横浜市におけるびんリユースの、現状の環境負荷と改善した場合の環境負荷低減を比較調査する目的で実施しているものです。

- ① リターナルびんにはビールびんから牛乳びんまで推定量 144 万トン位既にあるが、又ワンウェイびんは約 115 万トンあり、他に輸入分が 22 万トン有る。
(日本ガラスびん協会)
- ② びんのリユースによる CO2 削減効果は 60%削減可能である。ガラスは LNG で 1600℃溶解して作る為。
- ③ びんのリユース例のとしては生活クラブ生協大阪でジュース、めんつゆ等 50 種類のびんをリユースしている。

今年度 K E C A としての実施予定事項は先ずガラスびんを使用する食品メーカーを対象に検討し、横浜市モデルの LCA 計算モデルを構築し各種の設定条件のもとで CO2 排出量削減効果の比較評価を行い、横浜市との調整を図る予定である。

市民活動研究会 活動報告

『自然観察から環境考察へ』

～自然を畏敬し環境問題を考える～

大中睦夫 河野健三

市民活動研究会は昨年 4 月から『自然観察
きまし

から環境考察へ』をキーワードに活動して

た。パイロット事業として昨年9月に大磯丘陵(高麗山～湘南平)、11月には箱根にある函南原生林の環境考察会を行いました。この2つの環境考察会を振り返り、環境考察会の狙いと今年度の進め方について述べます。

1. 『自然観察から環境考察へ』を目指す環境考察会の狙い

私たち人間の生活は自然からの恵みにより成り立っています。そのことを忘れた私たちは自然を破壊し様々な環境問題を引き起こして来ました。自然は色々なことを教えてくれます。幸いにして地域に残っている身近な森林を訪ね、自然の偉大さを知ることから環境問題に気づき、「今の生活を見直すためのきっかけ作り」として環境考察会を行っています。

昨年の2回の考察会では自然を構成している「森林」(自然林)と「大地」(地形・をテーマとして取り上げ、その地域の歴史を加えて行いました。今年は「森林」と「大地」に、新たに「水」を加えて活動していきます。自然を構成する樹木、野鳥、地形、地層等を観察し水とのかかわりをも考察することにより、我々が抱えている環境問題の奥行の深さに思いを馳せ、市民や企業の人たちに自分を取り巻く環境について考えてもらうための機会を提供する場と考えています。

2. KECAの特長を生かした環境考察会

KECAにはそれぞれ豊富な経験と知識をお持ちの会員が多数いらっしゃいます。会員諸氏の専門性、得意分野を生かした多面的な考察がKECAの環境考察会の特長です。

もう一つはテキスト(リーフレット)を作成し、その環境考察会の主要テーマにつ

いて参加者が環境について考えてもらうための一助としていることです。昨年の2回のテキストはかなり内容の濃い、面白い内容になっています。一般の参加者も多様な知識、経験をお持ちなので、KECA会員との情報交換により主催者を含めた参加者一人一人の行動に結び付けば良いのではないかと考えています。気軽に意見交換が出来る場となるようにしていきたいと思います。市民や企業の経営者・従業員の人たちに環境問題への気づきを与えられるような活動にすると共に現在、個人で活動している会員の活動が継続して行えるような仲間作りも出来れば良いと考えております。

3. 今年度の進め方

本研究会は3年間の時限研究会であるため、今後支部に移管されていくことを考慮し支部との共催を含め支部会員の皆様が生活している地域を中心として行います。

市民は勿論、企業の経営者・従業員の人たちにも自然に触れ合う機会を提供し、環境問題に関心を持ってもらうよう勧誘を強化したいと思います。

今年度は弘法山(秦野市)コース、江の島コース、西湘支部との共催による真鶴コース、横浜支部との共催による新治市民の森(横浜市緑区)コースを予定しております。

奮ってご参加下さい。

4. 自然観察にはじめて係わった私(河野)の感想

先輩諸氏のご指導を頂きながらメンバーの一員として参加してきて感じたことは「環境問題は自然観察抜きには語れない」のではないかという事です。

私たちの生活が自然なしでは成り立たない以上、自然を感じることが環境問題に気づき環境保全活動を進めるきっかけ作りになると思います。一緒に活動する会
広報委員会報告 委員長 玉川達久

2010年度の広報委員会委員長を前年度に引き続き担当します玉川でございます。今年度も会員皆様のご協力を頂き勤めさせていただければ幸いに存じます。宜しく
お願い申し上げます。

前年度の広報委員会委員の皆様には引き続きご協力をお願い申し上げます。また、今年度新たに広報委員会に参加願うと共に
ご協力いただきます各位に感謝申し上げます。

1. 活動状況報告

1) 広報委員会（第1回）の開催

日時：2010年7月12日18時

場所：KEAC事務所（YWP-NPOスクエア内）

出席者：4名

2) KECAニュース41号の発行及び配信・配送

発行日：2010年4月24日

配信：KECA会員へメール送信（138人）

配送：関係諸団体へ送付（54部）

2. 実施体制

今年度は下記の体制（7名）で進めます。

- ・広報委員長＝玉川達久。
- ・副委員長＝今泉 奉。
- ・KECAニュース担当＝正）嶋田和夫、副）岩村順雄、秋元文雄。
- ・ホームページ担当＝正）西村堅一郎、副）上野秀一、岩村順雄。
- ・KECAリーフレット担当＝今泉 奉、岩村順雄、会員協力者（野々村信雄）
- ・環境らしんばん＝元担当の岸川氏の退会

員皆様の参加をお待ちしております。

以上

広

により、当面は休止します。

- ・催し物の広報/報告は従来通り主催する各支部・委員会等で担当して戴きます。体制強化のため新たなメンバーの募集を行っております、会員の皆様の協力をお願いします。

3. KECA ニュースについて

原稿文字数は1000文字程度、添付写真は1枚程度を目安に投稿をお願いします。

KECAニュースの会員への配信は岩村が担当します。

- 1) 42号の発行予定日：2010年8月28日
- 2) 43号の発行予定日：2010年12月25日（原稿締切り11月25日）
- 3) 44号の発行予定日：2011年4月23日（原稿締切り3月23日）

4. ホームページについて

- 1) 現状は既配布の「ホームページの当面の進め方」により維持している。
- 2) 今年度はKECAニュースの掲載を試行する

5. KECAリーフレットについて

目的は市民活動や外部団体・企業等訪問時のKECA-PR資料。KECAの名刺。

今後の予定は広報委員会（担当 今泉・岩村）が野々村会員とチームを組み、たたき台の作成を進める。本年9月を目処にまとめた後、理事会の承認をへてKECAリーフレットとする。

会員の投稿

早朝ウォーキングで感じる自然

県央支部 原 千秋

環境計測という会社の経営の傍ら、客先に環境に関する時事や自然環境のことなどを環境通信《かわせみ》として毎月発信しています。その一部を掲載します。

セイタカアワダチソウ（増えすぎて自分の毒で自滅）

最近、少なくなりましたが、相変わらず空

き地に背丈位に大きくなり、円錐状の黄色い花が咲きます。昭和40年台から増え始め、数年前がピークだったようです。植物が増える方法として、一つは種で飛ばすこと。もう一つは地下茎によってがあります。この草は両方の性質を持っていて、地下茎で増える際、回りの植物を枯らす毒を出してススキやブタクサなどを枯らして自分が大きくなっていきます。やがてこの毒が土にたまり過ぎて自家中毒をおこし、もとのススキやアシに戻ります。



**セイヨウカラシナ（セイタカアワダチソウ
の跡地に侵入してきた菜の花）**

河川敷や荒地に群生する、菜の花のような
黄色い花。セイヨウカラシナ
ヨーロッパ原産で、食用として導入された

ものが野化しました。おひたしで食べるこ
とができます。4月、畑には黄色い花がい
っぱいですが、小松菜、水菜、チンゲンサ
イ、白菜、キャベツなど、みなアブラナ科
の野菜で「菜の花」です。



タカサゴユリ（高速道路沿いに東進）

7,8月の暑い頃、テッポウユリと間違う、背の高い細葉の白い百合が増えました。20年くらい前7,8月の暑い頃、テッポウユリと間違う、背の高い細葉の白い百合が増えました。20年くらい前がない花だったので、温かい地方の花なんだろうって思っ

ていました。台湾原産の帰化植物タカサゴユリです。百合は連作障害が出やすく、同じ場所には長く棲みません。種を多くつけて風に乗って新たな場所を求めて各地に広がっています。高速道路を風に乗って九州から北上してきたのです。

**ナガミヒナゲシ（育つ環境を、増える手段を人間が）**

この数年で急速に、特に道路沿いで目立つようになったオレンジ色の花。アルカリ土壌を好むのでコンクリートによってアルカリ化した道端や植え込みなどに大繁殖しています。種が車で起きる風に飛ばされ

て増えます。植物は動物と違って自ら移動できません。動物は、日当たりの良いところ、暖かい場所へと自分で移動できます。植物は移動の手段を風や動物に頼りますが、今は車はその役を担っています。住む場所も人間が整えてくれます。植物には大助かりです。



会員の動向

新たに入会された会員の自己紹介をお願いします。

新入会員の自己紹介

横浜支部 金本和也さん

この4月から新社会人として広島から上京してきた金本です。学生の頃から環境問題に関心を持っており、大学院時代は国際協力研究科で交通工学を専攻する一方、国際環境協力についても学びました。現在は川崎で公害に関する環境行政の仕事に携わっています。現役ということもあり今のところ KECA の活動にあまり関わっていないのですが、修士論文の研究テーマが市民のエネルギーの消費行動だったということもあり、特にエネルギーに関するプロジェクトに関わってみたいです。また、環境保全活動をする市民団体を助成する事業が私の職場にあるのですが、KECA での活動を通して市民活動の助成の在り方も考えていければと思っています。

県央支部 田中一広さん

このたび、入会させていただきます

座間市在住の田中一広でございます。私はOA機器製造メーカーの販売部門に勤めています。現在の仕事は一般のお客様へのISO14001、EA21の認証取得支援コンサルタント業務をしています。具体的な内容として、環境セミナーの実施、マネジメントシステムの構築、運用活動の支援、内部監査員のスキルアップ研修等を実施しています。社内では、当社内での環境保全活動のプログラム作り、実践活動をしています。今後は、KECAで現在の強みを生かし、更に多くの企業様へ環境保全活動の啓蒙に勤めて生きたいと思っています。

横浜支部 川村卓正さん

相模原市南区在住。1959年、北海道苫小牧市出身。

出版社にてアウトドア雑誌の編集者、教育雑誌編集長などを歴任。小・中学校のPTA役員として、武蔵丘陵自然観察トレッキングを主宰し教員と生徒を引率する。

また、エコイベントを主催し、巨大ソー

ラーバルーン、ダンボールソーラークッカー、風力トーテムポールなどを企画・製作する。

ライフワークとして、マレーシア・インドネシアの熱帯雨林の調査を重ねている。

近著に『大人のための常識理科ドリル』（技術評論社：平成21年）、『デブでも走れる東京マラソン』（マイコミ新書：平成

21年）、『子どもの力を引き出す板書・ノート指導のコツ』（ナツメ社：平成22年）などがある。

横浜支部 牧野澄夫さん

横浜支部 室井悦雄さん

事務局便り

○2010年度のK E C A予算の執行は、通常総会の開催が1ヶ月遅れた分遅いスタートとなりました。そのことで、K E C Aの活動に大きな支障が生じた訳ではありませんが、当初予定通りに通常総会が開催できなかったことは、K E C Aの歴史始まって以来のことであり、総会でも説明のあった直接の原因もさることながら、事務局としての責任を大いに感じております。災い転じて福と為すべく、それこそP D C Aのサイクルをうまく回して継続的改善につなげていきたいところです。

○2009年度決算を踏まえて2010年度予算案を検討する際、「入るを量りて出ずるを為す」運営や如何にの議論を重ねました。N P O法人であるK E C Aの使命とは何か。定款に掲げた目的を考えると、尽きるところは支部活動や委員会活動を通して全ての受益対象者に資することです。従って、その使命を果たすための支出が主であり、それ以外は従とのコンセンサスは得られたものと思います。

○会費以外の収入源は、主にエコアクション21絡みの諸活動によるものでしたが、今年度はそれ以外に2つ以上の新規事業を立ち上げる方針が打ち出されました。

既に新しい芽が出る兆候も見られ、やがて成長して近い将来開花が期待でき

るかもしれません。関係者のご尽力に期待したいところです。

○ところで、今年は国際生物多様性年です。かつてないスピードで生物多様性の喪失即ち、種の絶滅が進んでいると言われています。5月の通常総会に代わる臨時総会特別講演では、I G E S国際生態学センターの林寿則研究員による時宜を得た“生物多様性保全を目指した森林再生の取り組み”が報告され、生物多様性の重要性を改めて認識させられました。

○通常総会では、定款の重要な改定が議決されました。従来の準会員制度を廃止し、正会員一本になりました。即ち、環境カウンセラー以外に本法人の目的に賛同して入会した個人も正会員となります。ただし、賛助会員は従来通りです。今後幅広い人材の入会が期待できそうですが、より一層会員勧誘の力量が試されることになったとも言えます。あせらず、あわてず、あきらめず、そしてあかるく。

○2009年11月、エコアクション21ガイドラインが5年半振りに改訂され、2009年版として公開されました。そして、2010年6月より旧版からの移行期間に入っています。旧版で認証登録をしている事業者向けのガイドライン改訂説明会が全国で開催され、先般神奈川でも2回行われました。地域事務局の要請で説

明会の講師を務めましたが、参加者の熱心な聴講が印象的でした。

○KECAでは、エコアクション21の導入ソフトもEA21ガイドライン2009年版に準拠して新たに作成しました。会員向け、事業者向けとも説明会を開催しますので是非参加して効率的なシステム導入のワザを習得して頂きたいと思っています。

編集後記

木村信幸

原千秋会員から寄稿を頂きました。セイタカアワダチソウの増えすぎて自分の毒で自滅というのがなかなか意味深く、

自然の奥行を感じさせてくれます。熱い夏もうすぐ終わり秋への兆しが虫の声となって表れています。

発行 特定非営利活動法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1

横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア内

理事長 杉浦 弘祐

事務局長 木村 信幸

TEL : 045-226-5822 FAX : 045-226-5825

E-Mail : 37keca@hamakko.or.jp

URL : <http://www.hamakko.or.jp/~37keca/>

当協議会は環境省に登録された環境カウンセラーが市民、事業者、行政その他の関係機関に対してさまざまな支援活動を行っています。